

平成28年度大阪府立吹田東高等学校

第2回学校協議会

日時：平成28年11月22日（火）

場所：大阪府立吹田東高等学校 校長室

・会長	村田 正昭	吹田市立千里丘中学校 校長
委員	豊留 由美子	吹田市立東山田小学校 校長
	山崎 彰	武庫川女子大学健康・スポーツ科学部長
	城下 英行	関西大学社会安全学部准教授
	柏渕 眞理子	東山田青少年対策委員会委員長
	本岡 直樹	吹田東高等学校 PTA会長
校長	中田 裕省	吹田東高等学校 校長
事務局	田中 伸明	吹田東高等学校 教頭
	芝野 雅人	吹田東高等学校 事務長
	井川 紀代子	吹田東高等学校 首席
	村上 明弘	吹田東高等学校 首席・生徒指導部長
	久保 美治郎	吹田東高等学校 指導教諭
	工藤 和子	吹田東高等学校 教務部長

## ◆学校長挨拶

- ・本校 Web ページ、校長通信の紹介  
オープンキャンパス、中学出前授業、2年進路フィールドワーク、修学旅行生が北海道より感謝状  
ブラックバイトについての研修、俳句の取組み、保育所交流、部活動紹介、国際交流、ゴルフ授業 など
- ・前連合会長に吹田東高校から感謝状を贈る

## ◆議 事

### ○報告事項

(1) 生徒による授業アンケート結果について【資料1ー①・②参照】

- ・質問項目の改正点についての説明（田中教頭）

H27年度より生徒が答えやすいように、より具体的に質問項目を変更。

- ・結果報告（田中教頭）

実技教科について高い結果が出ている。

英語については年々評価が上がっている。

各教科で2.8を下回るものについては生徒に返し、取り組みについて報告してもらっている。

8と9は教育委員会から変更してはいけない内容になっている。

Q 委員 毎年質問項目については検討しているのか。

A 基本的には趣旨は変えていない。

Q 委員 出た結果については各教員に回答しているのか。

A 各教員に結果を配布している。また、各教科・科目ごとにも結果を渡し改善策を検討する。

Q 委員 理科が昨年よりかなり改善されているが。

A 担当者が導入部分からわかりやすく授業をしている。

(2) 教科書選定報告（工藤）【資料2ー①～⑧参照】

- ・選定経過・観点・理由について説明

Q 委員 毎年選定しているのか。

A 毎年選定している。

- Q 議長 中学ではあんまり変更するとスムーズにいかないことがあるが、高校では結構変更するものなのか。
- A 積み上げていく教科では途中で変更しないことが多いが、総合的に判断して変更することもある。
- Q 議長 小中学校では吹田市で選定している。まず、調査委員が調査をし、選定委員がその報告を受けて選定し教育委員会で決定する。  
高校ではどのようにしているのか。
- A 英語においては各教員が中心に、授業する中で来年はこれぐらいが適切であろうとか、これぐらいは身につけてほしいというようなことを考えて学年ごとに選び、次に教科で選定案を決定する。
- Q 委員 学校で選定したものを報告するという形になっているのか。
- A 委員 教育委員会が各学校で選定されたものを教育委員会会議で決定する。
- Q 委員 そこで各学校に再検討してもらうことはあるのか。
- A 委員 大阪ではないが、東京・愛媛・香川ではあった。  
選定理由書をチェックし、合ってなければ再度検討してもらう。
- Q 委員 小中学校では決定前に第三者委員会が入るが、高校ではどうか。
- A それがこの場（学校協議会）になっている。

### (3) 新校舎について（芝野事務長）【別紙資料参照】

- ・校舎全体、ICT 関連、普通教室、その他の教室で分けて11月6日にアンケートを取った。
  - ・アンケートの結果を校内の将来構想委員会で検討し、大阪府の教育庁に要望を出していく。
  - ・校舎の建設は来年の10月ぐらいの予定で、今年度末から入札になっている。
  - ・普通の設備が仮設校舎には無いものもあるので新校舎に向けて発信していく。
  - ・普通教室のホワイトボードについては相反する意見があるのでアドバイスいただきたい。
- A 委員 大学ではホワイトボードだが、ランニングコストがかなりかかる。また、100人ほどの授業では後ろの方が見にくいいため、書画カメラを使って真ん中にプロジェクターを置いている。  
ICT 機器については10年・20年後を見据え考えるべきである。  
無線ランであれば太い回線でなければ使いにくい。  
また、今後アクティブラーニングの授業が加速していくと思われるので、対応できるようにしておく必要がある。
- A 委員 メンテナンスのしやすさを設計に反映してもらう。  
会議室や特別教室は床に電源があれば便利。  
大学では清掃業者の方で毎朝ペンが出るか全て確認しているが、かなりの労力になっている。  
これからはホワイトボードになっていくと思われる。
- Q 委員 学校施設の会社に行ってショールームを見たり、業者に来てもらっては。  
また、機器の説明会や講習会に行ってみては。
- Q 委員 プロジェクターの設置場所の検討はどのようにしているのか。
- A 教員によって使い方が違うので意見をまとめている最中。
- Q 委員 トイレのウォシュレットはどうか。
- A 今は乾式で全体では2台ウォシュレットがついているが、大阪府ではやっとな洋式になっているところ。
- Q 委員 今はタブレットが多いが、社会に出たらキーボードが大事なのでその指導をしてほしい。
- A 3年の選択科目の「情報演習」では重きをおいてやっている。また、ワープロ検定に希望者が受けている。

## ○協議事項 『学校経営計画の進捗状況について』

・校長より報告（進捗状況）

○学校経営計画中期的目標・進捗状況説明【資料3参照】

- Q 委員** アクティブラーニングをどこで評価するか。  
小中学校では全国学力状況調査の中で、この一年間に自分が意見を发表或し、そのような授業を受けましたかという項目がある。  
学力テストの平均点では公立より私立中学の方が高いが、今年の結果からもわかるように自分が意見を發表できたか、また、将来役立てようと思ったかという回答では私立より公立中学の方が上。  
多くの私立中学では受験の詰め込みの授業が多いということがその結果から読み取れる。  
このような質問項目を取り入れることが、アクティブラーニングが生徒にとって根付いているかがわかる。
- A 議長** 本校でもアクティブラーニングについて、目標設定面談や進捗状況の面談の中で若い先生中心にどうかと聞いている。また、学校教育自己診断の職員アンケートの中に「アクティブラーニングの手法について興味関心がある」という項目を入れたが、肯定的な回答が多かった。  
ただ、アクティブラーニングを積極的に進めていくためには同時に授業規律を確立しておかなければならない。授業に集中できるという生徒だからこそこのような手法が生きてくると思う。
- Q 委員** 小学校は以前からアクティブラーニングを行っている。  
高い学びというところにも結びついている。
- A 委員** 大学では教えることが決まっているようで決まっていないうが、高校では進路のこともあり教えることが決まっている中でアクティブラーニングは難しいのでは。  
例えば、総合の中でアクティブラーニングをやることによって教科に対する興味関心がわくというような形がとれたらいいと思うが、なんでもかんでもアクティブラーニングというのは現実的で無いのでは。数学や理科では不評。
- A 議長** 中学校でも同じような状況で、数学では計算式を解く問題ではなく、証明問題のようなものでは有効な手段である。  
また、高校と同じく入試で結果を出さなければいけないので、結果を出しつつ新しいことも取り入れるということから、すべてそれでやるのではなく、50分授業の中である部分だけやってみるとか、単元によって取り入れてはということをお話している。
- A 委員** 基礎・基本をしっかり教えなければいけないが、そこから自分で考えそれを人に理解させるかという力がある。また、それを生活の中で応用していくというような考えを持たせるのが将来にも大事。
- A 委員** アクティブラーニングと伝統的な指導とが上手くリンクすると生徒は教科学習にもっと興味を持つのでは。防災について教えているが、防災の課題もそこにあると思う。防災の場合は一生使わないこともあり、一方的に教えてもらうより自分がかかわって意味があると感じ取らなければ学ばない。そういう意味ではアクティブラーニングは必要で両方大事だと思う。
- A** 高校の授業では達成ということが大事。古典の授業でグループ学習を復習に取り入れ、グループの中で教え合い、答えを出す。また理科では導入で使っており、興味関心を持ってもらうためにグループで討論させるような使い方もしている。
- Q 議長** 民間企業で、社会に出てくる若い人達を見てどう感じるか。
- A 委員** 一時期企業の中での人材育成の方法はアクティブラーニング形式がほとんど主だった。今の人は団の中から新しいものや意見を生み出さなければならぬためアクティブラーニングが土台でこのような学習方法は必要である。
- Q 校長** 新校舎に向けて何か実践例があれば挙げてほしい。
- A 委員** 先生は生徒の指導もあるので、費用が掛かるかもしれないができるだけ民間にあるものを活用し、ゆとりを持って生徒の状況を見ることも必要ではないか。
- Q 委員** 語学研修をもう少し増やしては。  
行ってきた生徒の感想を見てみるとかなり飛躍してきたように思われる。
- A** 3校（大冠・福井・吹田東で来年度は福井が抜けて北摂つばさ）で最大25人であるが、できるだけ多く参加してほしいと思っている。本校では2年生に声をかけて実施している。

- Q 委員 語学研修において何か一定のセレクションをしているのか。
- A 初年度は希望者が18名いたのでセレクションしたが、2年目と3年目は希望者が6、7名なので希望者は全員参加であった。
- Q 委員 行く期間と費用はどのくらいか。
- A 期間は15日間で費用は35万円と諸経費。  
自分から行きたいと申し出た生徒とがほとんどだが、中には親から言われた生徒もいる。どちらも行ってよかったと言っている。
- Q 委員 マジー高校とは毎年行って交流もあり、また時差も少ないのでオンラインで共通授業などもしてみても、1年生でそのようなことをやると、2年生で行ってみたいと思う生徒が増えるのでは。また、両校の高校紹介を英語でさせると日本の高校生にとってはいい英語の学習になるのでは。
- A 関係も築けてきたので考えたい。
- Q 委員 毎年行っているのであれば姉妹校提携をしてみても、受験英語の力をつけなければいけないが、実践的な英語を身につけることも大事なのでは。希望者も増えると思われる。
- Q 委員 新入生のクラブの加入率（88.8%）が高い
- A 委員 吹田東高校のいい状況が表れていると感じた。
- A 委員 クリーンキャンペーンで部活動の生徒が参加し、意欲的に取り組んでいた。また、通学路ということもあり、いろいろ感じながらゴミ拾いをしていた。世代の違う人と話すなど地域の方と交流もできてよかった。最近では吹田東高校の生徒が公民館に絵を出展したり、幼稚園に来てもらったり、納涼大会に参加してもらったりなど地域に積極的に参加してくれているが、地域の方も以前より違う印象を受けていると感じている。
- A 今回は本校生、地域の方々、阪大生、PTAと参加者が初めて400人を超えた。
- A 委員 今回自分も参加したが、部活動の生徒はすばらしい生徒たちだった。地域では高校生に対して怖い印象を持っている人も多いが、今回部活動の生徒と接することで印象が変わったと思う。またそれが今後学校を発展するきっかけになったと思う。

#### ◆事務連絡

次回（第3回） 2月15日（水） 15：30～